西区　区域まちづくり事業　効果検証シート

<table>
<tr><td colspan="6">事業名称</td><td colspan="4">実施主体</td></tr>
<tr><td colspan="6">西区歴史ウォークラリー</td><td colspan="4">西区自治連合協議会「にぎわい・文化のまちづくり」部、堺市西区</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業目的</td><td colspan="2">事業内容</td><td colspan="2">活動指標</td><td>R5</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">西区内の身近な史跡を直接巡って学ぶ機会を創出することで、地元で培われてきた歴史や文化などの魅力を再発見するきっかけとし、郷土意識を醸成することを目的とする。</td><td colspan="2" rowspan="2">郷土史研究者を解説員として招き、説明を受けながら、まち歩き形式で実施する。立ち寄るスポットは「にぎわい・文化のまちづくり」部会員の意見を元に決定する。</td><td colspan="2">①申込件数（申込者数）</td><td>20件（28人）
（R5.4月開催）</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>12件（15人）
（R6.2月開催）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="2" rowspan="2">②アンケートでの満足度測定
（「よかった」以上の割合）</td><td>100%
（R5.4月開催）</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>100%
（R6.2月開催）</td></tr>
<tr><td colspan="2">①妥当性</td><td colspan="2">②協働の視点</td><td colspan="2">③インパクト</td><td colspan="2">④効率性</td></tr>
<tr><td>○</td><td>西区の歴史や文化、史跡等の存在を再認識するとともに、地域への理解を深め、愛着・伝統の継承や郷土意識の醸成の機運を高めることが期待できる。
また、西区が誇る歴史文化のPRに寄与することができる。</td><td>○</td><td>ウォークラリーで立ち寄るスポットの選定を部会員が行うことで、区民が事業に関わる機会を持つことができた。また、2月開催の東部エリアでは、一部のスポット解説を部会員が行うなど、協働して取り組んだ。</td><td>○</td><td>西区の身近な歴史や文化について、郷土史研究者の説明を受ける貴重な機会を提供することができる。</td><td>△</td><td>ツアー形式のウォークという性質上、安全のため参加者数に制限をかける必要がある。
そのため、参加者数が少なく、費用対効果が薄い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">⑤自立発展性</td><td colspan="2">総合評価</td><td colspan="4" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>△</td><td>広報・講師への依頼など、区民が自立して取り組むことが困難な部分も多く、今後も区民と行政が協働して実施していくことが望ましい。</td><td>○</td><td colspan="2">本事業実施に向けて行政が主体となり準備などを行ったが、スポット選定や当日の解説協力など、区民と協働で運営することができた。また、アンケートでは多くの参加者から「大変良かった」「良かった」と回答していただいた。西区内の史跡や寺社をめぐることで、地元で培われてきた歴史や文化などの魅力を再発見するきっかけとなり、郷土意識や地域への愛着を高めることができた。</td></tr>
<tr><td colspan="10">所見</td></tr>
<tr><td>拡充
継続
見直し
廃止</td><td colspan="9">非常に満足度の高い事業となった。一方で、ツアー形式のウォーキングを安全に開催できる程度の人数では、費用対効果として薄く、より多くの人に知ってもらう取組が必要となる。次年度以降は、ホームページでコース説明を紹介するなど、当日参加者以外にも西区の魅力を伝えられる方法を模索する。</td></tr>
</table>